

魚類図鑑



担当:岡田隊員

▼厚岸のサンマを待つ一句



厚岸町地域おこし協力隊facebookページも見てね！

<https://www.facebook.com/akkeshi.chiikiokosi/>



こんにちは。直売店の岡田です。月日が経つのは早いもので、あっという間に3年目の夏がやってきました。今年の夏は本当に北海道？と思うくらい猛暑が続き、気付けば顔も腕も日焼けで真っ黒になるほどでした。そんな真夏のような気温がおさまる頃、とってもおいしいあの魚が旬の時期を迎えます。そうです『サンマ』です。

サンマはオホーツク海方面で回遊し、プランクトンなどをたっぷりと食べた後、産卵のため8月頃から寒流の親潮に乗って南下し始めます。厚岸沖を通る頃には、サンマは餌を十分に食べて太り、脂肪もたっぷりと蓄えた状態になっているので、おいしいサンマになっているのです。

厚岸沖より更に南下すると、蓄えた脂肪が徐々に落ちてしまいます。サンマの多くの栄養素とうま味は『脂』にあります。『脂』を一番蓄えている時期にとれる厚岸のサンマだから絶品なのです。僕たちも『サンマ』も猛暑を乗り切って、食欲の秋を迎えたいと思います！

あなたに



新しい地域おこし協力隊を紹介します



かんだ じゅんいち
神田 潤一さん(35歳)

8月1日に、斜里町出身の神田潤一さんが地域おこし協力隊員として着任しました。神田さんはきのこ菌床センターで活動しています。

厚岸で活動しようと思ったきっかけは？

厚岸町出身の妻から地域おこし協力隊の話聞き、子どもの頃、好物の椎茸を育てて収穫した思い出もあり、地方で生産者として活躍したいという思いから応募しました。

自然が豊かで、移住するのにとても魅力的な土地でしたので、今回の機会はとても運に恵まれたものだと思っています。

どのような活動を展開していきたいですか？

菌床センターで経験を積み、流通のある消費地で小学生を対象とした食育活動を始めたいと考えています。菌類は学習のテーマにもなりやすく、興味を持たれやすいと思いますので、流通のある地域になるべく関わりを持ち、持続的な消費者を増やす活動を目指したいです。

皆さんへメッセージ

厚岸を第二の故郷とし、自分なりに学んだ知識を活かして地域に貢献したいと思っていますので、よろしくお願いします。